



株式会社開邦工業

沖縄唯一の ごみ焼却炉・火葬炉メーカー。



沖縄市州崎にある本社工場



平成13年に手掛けた、茨城県のさしま環境管理事務組合斎場火葬炉新設工事



平成22年に手掛けた、多良間村ごみ処理施設基幹的整備工事

株式会社開邦工業は、ごみ焼却炉の設計、施工、メンテナンスを主力事業とし、火葬施設や動物用大型焼却炉の設計施工、不燃物処理設備のメンテナンス、さらには排水処理部門における下水道処理場、し尿処理場の運転維持管理を中心に、現在では上水道部門の運転管理にも携わる、県内唯一の焼却炉プラントメーカーです。

昭和56年に完成した伊良部町(当時)の焼却炉を皮切りに、これまで県内離島自治体の半数以上の焼却炉を受注。人口やごみの量に応じて機能を設定し、専門職員を置かなくても操作でき、頻繁な修繕が必要ない性能と低コスト化など、離島のニーズに合った焼却炉の供給が評価されています。

焼却炉の新設需要が少なくなった平成13年頃からは、

主力業務を保守点検部門に切り替え、さらに離島県沖縄で培った技術とノウハウを活かし、関東エリアを中心とした本土市場を開拓。特に焼却炉の排ガスを処理する「バグフィルター」用「ろ布」の交換工事

においては、ダイオキシン対策でバグフィルターを使う焼却炉が増えると確信し、平成11年頃から積極的な営業展開を試みました。平成21年には、インターネットサイトでバグフィルターの適正価格や工期などを迅速に見積もることができるよう受注システムを開発。公共工事では前例のないシステムで自治体市場開拓に取り組み、大手プラントメーカーによる独占的な状況に挑んでいます。

「沖縄にも焼却炉のプラントメーカーがあることを、県外でも認められる県産の技術力があることを知ってほしい。もちろん、他のメーカーが作った焼却炉のメンテナンスも可能で、県外発注に比べ工期も短く、コストも抑えることができます」。まだまだ認知度が低く、

今後はその点を積

極的にアピールしていきたいという、玉寄将社長。

最近では、焼却施設以外からの問い合わせや海外からの取引要請、民間企業からの問い合わせも増えたといいます。今後は、ごみ以外の焼却炉を持つプラントや工場、専門業者のいない地域など、新たな需要掘り起こしにも力を入れていきたいと話していました。



玉寄 将 代表取締役社長



バグフィルターろ布の交換作業風景

■株式会社 開邦工業／うるま市字州崎7-19 TEL.098-934-2811 FAX.098-934-2801 URL:<http://www.kaiho-k.co.jp>